

「市川三郷町健康増進計画・自殺対策計画（素案）」（令和６年度から令和１０年度） に対するパブリックコメントの結果について

１ 意見等の募集期間 令和６年２月２７日（火）から令和６年３月８日（金）

２ 意見等の受付件数 １件

３ 意見の内容とそれに対する町の考え方

【計画名】健康増進計画

ページ	項目	ご意見	ご意見に対する回答
P52	健康づくりの意識の高揚や情報の周知等	■地域・関係機関等の取り組みに関して ①「地域で声を掛け合い健診を受けるようにします」との記述があるが、地域のつながりが希薄になり、家にいる地域住民が検診を受けるかどうかをお互い知るすべがない中、声を掛け合い受診を促進するのは現実的でない。 ②健康づくり教室や学習会を開催するとあるが、不特定多数に行っても効果が薄い。生活習慣病予備軍など対象を絞り、学習会の効果が上がる方策を講じるべき。 ③学校や保育所との連携し具体的支援とあるが、何を示すかわかりづらい。 山梨県は肥満児童生徒の割合が高いので、そういったある一定の児童生徒及び保護者を対象にするなど対象を絞る方が効果的ではないか。	貴重なご意見ありがとうございます。 計画に掲載しております各取り組みにつきましても、町の事業実施計画の中で検討し実施していくこととなります。今後の業務の参考にさせていただきます。 分かりづらい用語につきましては、計画中に資料編として用語解説を掲載いたします。
P53		■行政の取り組み ①フレイル予防の普及啓発として、運動指導があると思うが、町営の施設の活用や市川スポーツクラブとの連携を図ってはどうか。 ②健康づくりリーダーの育成支援 看護師、保健師資格がある人を重点的に育成支援する。	
P56		■町民の取り組み 記述してある項目は住民自ら行うには無理がある。動機づけとなる何らかの機会を設	

P61	休養・こころ	ける必要がある。各区単位で昔の運動会のような場を設けるなど、間口を緩くしそこから運動習慣の定着へ方向付けるなど工夫しないと、運動習慣のない人を変容させるのは難しい。 ■地域・関係機関の取り組み 通いの場での健康づくりの推進とあるがこれは何を指すのか。 町内各所で行われている百歳体操やサロンを活用するなら、その指導している人の指導レベルを上げるなど、効果が出る内容に導いて欲しい。 ■町民の取り組み 悩み事を相談できる相手を見つけようとあるが悩み事を地域に住む人に相談できる人は少ない。 P22の町に対し力を入れて欲しい項目を参考に前述の健康づくりリーダーにその役割を担ってもらうなど、地域にいる民生委員、児童委員とはまた違った健康相談員的な人を置くなど体と心の健康に特化した相談相手となる人材育成ができるとよい。	
-----	--------	--	--